

戦後 80 年糸満市議会平和宣言

本年、私たちは戦後80年という節目を迎えました。

1945年、この地・糸満は、沖縄戦最後の激戦地となり、国籍や立場を問わず多くの貴い命が失われました。家族を、友を、故郷を、一瞬にして失ったあの夏。悲しみと痛みは、今もこの大地に刻まれています。

「命どう宝」、命こそ、何もののにも代え難い大切な宝である。

これは、戦争を生き抜いた人々の魂の叫びであり、私たちに託された言葉です。

戦争は、命を奪い、人間の尊厳を踏みにじります。

どんな理由があろうとも、命を犠牲にすることは決して許されません。

人間には、平和のうちに生存する権利があります。

その当たり前の権利が、戦争によって無残にも踏みにじられた過去を、私たちは決して忘れてはなりません。

今も世界では、戦火や暴力、分断の連鎖が絶えません。

だからこそ、戦争の残酷さと悲惨さを経験した私たち糸満の地から、全ての命が等しく貴いという揺るぎない「命どう宝」の精神と、平和を希求する沖縄の「平和の心」を、世界へ、未来へと伝え続けます。

ここに糸満市議会は、市民とともに、恒久平和への願いと決意を込め、次のことを宣言します。

一、戦争の記憶を風化させず、「命どう宝」の精神をもとに、沖縄の「平和の心」の継承、「平和を創り出す主体」を育てる取組を進めます。

一、沖縄戦の実相と教訓を広く発信し、沖縄の「平和の心」、み霊の眠る「平和の杜（もり）」の誓いを国内外へ伝えていきます。

一、全ての人が平和のうちに生存する権利と尊厳が保障される社会、分断ではなく対話を、対立ではなく共生を大切にするまちづくりを進めます。

糸満市議会は、戦争のない未来、生命尊厳の社会をつくるため、歩みを止めず、市民とともに進むことを、ここに強く宣言します。

以上、決議する。

令和 7 年 6 月 20 日

糸 満 市 議 会